

様式第2号（第9条関係）

会 議 録

会議の名称	令和8年度第1回ふじみ野市社会教育委員会議			
開催日時	令和8年7月9日（木） 開会時刻 午前9時30分 閉会時刻 正午			
開催場所	ふじみ野市役所 本庁舎 2階 A202会議室			
出席した者の 氏名 （委員15人 中10人出席）	役職名	氏名	役職名	氏名
	副議長	中 窪 由香理	委 員	進 藤 美 奈 子
	委 員	石 川 健 一	上福岡歴史民俗資料館長	井 上 樹 朗
	委 員	小 澤 真 樹	上福岡歴史民俗資料館 学芸係長	田 中 桃 子
	委 員	松 舘 千 枝	事務局(課長)	木 村 裕 之
	委 員	原 口 雅 樹	事務局(副課長)	松 原 秀 洋
	委 員	宮 下 宏 樹	事務局（地域学び係長）	松 島 弘 泰
	委 員	長谷川 節 子	事務局（文化財保護係長）	岡 崎 裕 子
	委 員	齊 藤 智 美	事務局(係長)	笠 掛 裕 子
	委 員	山 口 ゆかり	事務局(主事)	星 野 彩 奈
会議の議題	（1）審議事項 ①令和8年度社会教育関連事業計画について ②社会教育関係団体の補助金審査について ③社会教育委員活動予定について ④常設専門委員会委員の選出について ⑤関係団体・委員会等の委員の選出について （2）報告事項 ①ふじみ野市立博物館について ②入間地区社会教育協議会社会教育委員部会からの報告 （3）その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部 社会教育課			
議事の確定	確定年月日	令和8年7月29日		
	記名押印	役職名 議 長 齊 藤 宏 ㊟		

		(当日議長) 副 議 長 中 窪 由 香 理 ㊟
--	--	---------------------------------------

別紙

発言者	発言の要旨
木村課長	開会の挨拶 ・出席者１０名、欠席者５名で会議成立の報告 ・傍聴者０名の報告
木村課長	議長及び副議長の選出。
石川委員	長年議長を務めた実績から、齊藤宏委員を議長に推薦。同様に、長年副議長を務めた実績から、中窪由香理委員を副議長に推薦したい。
全委員	異議無し。
木村課長	異議無しのため、齊藤委員を議長に、中窪委員を副議長に決定する。なお、齊藤委員には事前に内諾を頂いている。
中窪委員	副議長就任の挨拶。
事務局 (星野)	配布資料の確認。
木村課長	配布資料不足なしのため、議事進行。 ・社会教育委員について
事務局 (笠掛)	資料２「社会教育委員について」に基づき説明。
木村課長	質疑応答（質疑なし）。議事進行。 齊藤宏議長欠席のため、進行を中窪副議長に依頼。
中窪副議長	議事進行。 ・令和８年度社会教育関連事業計画について
事務局 (笠掛・岡崎・松島・井上館長)	資料３「令和８年度社会教育関連事業計画説明資料」に基づき説明。
中窪副議長	質疑応答。
長谷川委員	図書館管理運営事業について意見。借りたい本があったため上福岡図書館で調べてもらったところ、西公民館図書室の蔵書であったため、問い合わせたが借りられ

	ず諦めたことがあった。西公民館図書室にしか蔵書がない本は、上福岡図書館で貸出できるようにしてもらいたい。
事務局 (笠掛)	西公民館図書室の蔵書は旧東台小学校に保管中であり、そこから選別して対応することは現状難しい。本件は図書館から情報が上がっていない。今後は西公民館図書室の蔵書のうちどの範囲までが上福岡図書館で貸出が可能なのかどうかを、図書館と調整・確認し、なるべく要望に対応できるよう進めたい。
木村課長	図書館とのモニタリング会議では、西公民館図書館所蔵本のうち貸出頻度の高いものについては、上福岡図書館・大井図書館に移動させて貸出対応を行っていると聞いている。ただ、貸出頻度の低いものについては、笠掛の説明のとおり旧東台小学校に保管している。保管中の蔵書の取扱については、今後図書館とも確認・検討していく。
中窪副議長	西公民館図書室にあった本は、いずれ西公民館図書室に戻るという認識でよいのか。
事務局 (笠掛)	中窪副議長が認識している通りである。
中窪副議長	他に意見・質問はあるか。
小澤委員	地域学校協働活動推進事業におけるＬＩＮＥワークスの活用について意見。数年前から、ＬＩＮＥワークスを導入したことで地域コーディネーター（地域学校協働活動推進委員）と連絡・情報交換ができるようになっている。ただ、今年度から任命された地域コーディネーターや、新規配属された事務局の職員がＬＩＮＥワークスに加入していないようである。
事務局 (笠掛)	新コーディネーターにはＬＩＮＥワークス用の新規ＩＤとパスワードを付与して案内している。新規配属された事務局の職員の未参加について、前年度までは職員ごとにアカウントを持っていたが、今年度からはメッセージの見落としが無いよう、事務局全体で１つのアカウントを利用することにした。旧年度職員のアカウントも存在しているが、事務局で順次退会処理を進める。
中窪副議長	他に意見・質問はあるか。
石川委員	昨年度ふじみ野市立博物館についての議題があり、完成イメージ図を拝見したが、その後の経過が不明なため、どこかで報告してもらいたい。
中窪副議長	博物館の見学会を行うという話も出ていたように記憶している。
井上館長	後ほど別途案内予定であったが、８月３０日の博物館開館記念式典には社会教育

	委員の皆さまには参加していただく予定である。また、テープカットの後に内覧会を行う予定である。
中窪副議長	他に意見・質問はあるか。
進藤委員	過去に河岸記念館でコンサートが行われたことがある。このようなコンサートや落語などのイベントは月に1回程度で定期開催しているのか。
井上館長	毎月という形ではできていない。落語は年に1回程度開催している。
進藤委員	近隣住民も多く魅力的な空間であるため、音楽を聴くなどの目的というわけではなく、河岸記念館に足を運んでもらうために、定期的に開催した方が良いのではないか。そんなに予算もかからないと思う。河岸記念館に限らず、新博物館も含め、定期イベントを開催して集客につなげるのが良いのではないかと。
山口委員	進藤委員が音楽イベントをした際の、河岸記念館への来場者の交通手段は何か。
進藤委員	徒歩や、近隣に駐車して来られる方が多い。河岸記念館にも少数だが駐車場はある。河岸記念館の収容可能人数は30人程度。雰囲気の良いため、様々な事業とマッチングすると良い。
山口委員	バス等の公共交通機関はあるか。「ふじみん号」のバス停はあるか。
井上館長	河岸記念館の目の前ということではないが、近隣に民間のバス停はある。
進藤委員	月に1回の開催が難しいのであれば、3か月に1回などでもよい。とにかく定期的に事業を行うことが重要。今後時間に余裕のある高齢者が増加することが予想されるので、習い事だけでなく、気軽に立ち寄れる場所があると良い。
石川委員	以前、フルート演奏を開催してもらったことを覚えている。河岸記念館では色々なイベントを開催していると思うが、原口委員はこの件に関してどう考えているか。
原口委員	定期開催は継続性という観点から重要だということは承知しているが、スタッフ体制や準備の負担が課題。また、住宅地にあるため大音量の企画は難しい等の制約がある。落語はそういった条件に合致していたため、開催することができた。いままでそうしてきたから開催内容を変えなくてもよい、ということではないが、制約を考慮しつつ、関心を持ってもらうきっかけとして何ができるか、新たな提案をしてもらったうえで、その提案が河岸記念館で実現可能かどうかも含め、時間はかかると思うが検討していくべきだと思う。
進藤委員	河岸記念館で行う音楽イベントは人気が高い。他の場所ではなく河岸記念館で聞

	く音楽、というのが市民の人気を集めているのだと思う。定員は約 30 名だが、いつもすぐに満席になる。それだけ魅力があるということだと思う。
原口委員	河岸記念館は文化財であり、構造的にもコンサート等のために建てられたものではない。イベント開催のために建物が破損しては本末転倒なので、人数制限は止むを得ない面がある。
石川委員	河岸記念館では四季折々の催しが行われている。既に行われているそういった行事とセットで行えると良いと思う。
中窪副議長	今後の検討課題として、良いアイデアを出していけたらよいと思う。 他に質疑なし。 議事進行。 ・社会教育団体の補助金審査について 社会教育関係団体の補助金審査については、予算書等の金額、支出項目に対する疑義ではなく、本来の社会教育関係団体として市から受けた補助金がどのように事業に活用されているか、補助金の目的に添った事業が行われているかなどを視点に見ていただきたい。
中窪副議長	資料 4 「社会教育関係団体の補助金審査について」については承認で良いか。 質疑なし。 議事進行。 ・社会教育委員活動予定について
事務局 (笠掛)	資料 5 「社会教育委員活動予定について」に基づき説明。
山口委員	8 月 3 0 日（日）の博物館内覧会は活動予定に含まれないのか。
木村課長	予定表には未記載だが、委員の皆様にはぜひ参加をお願いしたい。
中窪副議長	他の質疑なし。 議事進行。 ・関係団体・委員会等の委員の選出について
木村課長	社会教育委員の任期満了に伴い、専門委員の選出を改めてお願いする。
中窪副議長	昨年度からの継続審議事項もある。昨年度専門委員を務めた委員の中で、本年度は専門委員を引き受けられない方はいるか。 該当者なし。 事務局案を提案してもらいたい。

木村課長	事務局案としては、中窪委員・石川委員・小澤委員・松舘委員・原口委員・齊藤(宏)委員・長谷川委員・山口委員・進藤委員の9名。
中窪副議長	名前を呼ばれた委員のなかで、引き受けられない人はいるか。 該当者なし。 その他に立候補する委員・推薦する委員はいるか。
小澤委員	岩舘委員はどうか。
事務局 (笠掛)	岩舘委員には、実は事前に専門委員を打診している。しかし、お勤め先が遠方になったため、辞退された。
木村課長	『ふじみ野市社会教育委員会議常設専門委員会規則』には「委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又はその説明を聴くことができる」とある。この規定を適用し、岩舘先生のお力を借りたいときは会議に出席してもらうこともできる。
中窪副議長	淑徳大学の齊藤先生はご見識があると伺っているがどうか。
齊藤(智)委員	授業の都合で出席できないことも考えられるが、可能な範囲で引き受けたい。
中窪副議長	専門委員の承認。 事務局から第1回専門委員会の説明を願う。
事務局 (笠掛)	第1回専門委員会の日程調整依頼。後日改めて通知する。
中窪副議長	議事進行。 ・関係団体・委員会等の委員の選出について
事務局 (松原副課長・井上舘長)	資料6「関係団体・委員会等の委員の選出について」に基づき説明。
中窪副議長	質疑応答(質疑無し)。 引き続きふじみ野市博物館協議会委員を選出する。立候補はあるか。
齊藤(智)委員	前職は学芸員で、博物館に15年間勤めていた。立候補する。

全委員	拍手で承認。
中窪副議長	報告事項に移る。議事進行。 ・ふじみ野市立博物館について
井上館長	「ふじみ野市立博物館について」を説明。 8月30日に開館記念式典を執り行う。社会教育委員の皆様へは追って招待状を送付する。また、11月1日に開館記念イベント、11月7日に荒俣宏氏の講演会を開催予定。 資料「ふじみ野市立博物館の貸出備品について」に基づき説明。
中窪副議長	質疑応答。
石川委員	施設の予約は予約システムから行うのか。
事務局 (田中)	施設予約システムから予約できる。
山口委員	資料に「3日前までに予約が入らなかった日については、学習スペースとして開放する」とあるが、使用前日に予約することはできないという認識で良いか。
井上館長	机の移動の対応などがあるため、予約できない。
中窪委員	博物館の施設は、音楽目的で借りることはできるのか。
事務局 (田中)	展示室では映像を流すため、音楽利用は展示の妨げになる可能性がある。そのため、音楽利用は展示室が閉じた後の最終枠午後6時から午後8時までを利用してもらえたらと思う。実際に利用されはじめてから音の状態を確かめることになるため、最初は音楽利用を禁止せずに貸出を開始する。
中窪副議長	日中音楽イベントを行うことは可能か。
事務局 (田中)	できるようにしたいと考えている。 最初は音楽に対する制限は設けず、様子を見ながらご意見を聞いていきたい。
中窪副議長	他に質疑なし。議事進行。
小澤委員	報告事項「入間地区社会教育協議会社会教育委員部会からの報告」 以下の通りイベントが予定されているため、委員の積極的な参加をお願いしたい。 ①10月15日：入間地区市町村社会教育委員研修会 ②2月5日：入間地区生涯学習フォーラム

	① 10月15日：入間地区市町村社会教育委員研修会 通常は講師の講演および分科会での情報交換だが、今年は各市町の社会教育活動話し合うワークショップを予定。本日午後開催する社会教育委員部会会議で詳細が決定する見込み。ふじみ野市の活動についても発表予定であり、部会外のメンバーが発表することで交流深化を図りたい。発表者選定は、本日の部会内容を踏まえ事務局に任せたい。 ② 2月5日：入間地区生涯学習フォーラム 今年はふじみ野市が副会長の年であり、実行委員に当たっている。参加者増を狙い、基調講演を短縮してパネルディスカッションの時間を長く確保する予定。積極的に参加してもらいたい。10月に実行委員会会議が予定されているため、内容が決まったら事務局に相談する。
中窪副議長	開催時間は午前か、午後か。
小澤委員	例年通り午後開催を予定。なお、動員を増やすため来年以降は土日開催も検討されている。次回の社会教育委員会会議が3月であり、①・②の開催後となるため、個別に参加を呼びかける。
中窪副議長	質疑応答なし。進行を事務局に戻す。
木村課長	委員からの連絡事項なし。 事務局からの連絡。専門委員会会議の日程について、改めてメールにて日程調整の連絡をするため、確認をお願いしたい。
井上館長	11月1日（日）と11月7日（土）に開催される博物館の開館記念イベントにもぜひお越しいただきたい。案内は後日お渡しする。
中窪副議長	11月のイベントについて、市民に周知するのはいつ頃か。
事務局 （田中）	9月頃を見込んでいる。チケットの販売方法など、まだ検討が必要な問題が多い。
中窪副議長	質疑応答なし。 只今をもって令和8年度第1回社会教育委員会会議を終了する。